

## 首都高速道路株式会社第3期(平成20年3月期)中間決算のポイント

(会計期間:平成19年4月1日～平成19年9月30日)

### 1. 営業損益の概況

(1) 上半期は、首都高速道路を1日平均115万台のお客様にご利用いただきましたが、昨年度の中間期と比較しますと、0.6万台/日、0.5%の増となっております。

一方、料金収入等1,274億円はETC利用率の上昇に伴う割引額の増などにより、昨年度の中間期により、4億円、0.3%の減収となりました。

また営業費用のうち、管理費254億円は、昨年度の中間期と比較しますと、上期比率が36% 40%、40億円の増となりました。これは補修工事等の前倒し執行によるものです。

この結果、営業利益はほぼ半減しております。なお、補修工事等の完成が下半期に多いことから、上半期においては下半期に比べ利益が発生しやすい状況にあります。

(2) 関連事業は、都市計画駐車場における大口顧客の獲得など長期安定顧客の確保や自動二輪車駐車場の設置などの増収対策等により、3億円の利益を計上しました。

(3) 全事業では、以下の表のとおり、経常利益59億円、税引後純利益32億円を計上しました。

(単位:億円 億円未満切捨て)

	平成20年3月期 中間期連結実績(A)	平成19年3月期 中間期連結実績(B)	増減 (A) (B)
<b>&lt;高速道路事業&gt;</b>			
営業収益(売上高)	1,323	1,488	165
うち料金収入等	1,274	1,278	4
うち道路資産完成高	49	210	160
営業費用	1,271	1,389	118
うち賃借料	967	964	3
うち道路資産完成原価	49	210	160
うち管理費	254	215	39
営業利益	52	99	46
<b>&lt;関連事業&gt;</b>			
営業利益	3	2	0
<b>&lt;全事業&gt;</b>			
営業利益	56	101	45
経常利益	59	102	43
税引後純利益	32	60	28

## 2. その他の損益の状況

- (1)平成19年7月に南青山分室(保養施設)を売却しましたが、その売却益4億円については、特別利益として計上しました。
- (2)平成19年8月の東京大気汚染訴訟の和解に伴う東京都への拠出5億円については、特別損失として計上しました。

## 3. 平成20年3月期の業績見通し

平成19年4月1日～平成20年3月31日の通期の業務見通しにつきましては、連結ベースで高速道路事業の営業利益10億円、関連事業の営業利益6億円をそれぞれ計上する見通しです。

これにより、経常利益で11億円、税引後純利益で5億円を見込んでいます。

なお、中央環状線(4号新宿線～5号池袋線)や横浜公園出口の開通等により、道路資産完成高1,823億円を機構に引渡す見込みです。

(単位:億円)

	通期連結見通し	平成20年3月期 中間期連結実績	上期比率
<b>&lt;高速道路事業&gt;</b>			
営業収益(売上高)	4,389	1,323	
うち料金収入等	2,566	1,274	49.6%
うち道路資産完成高	1,823	49	2.7%
営業費用	4,379	1,271	
うち賃借料	1,935	967	50.0%
うち道路資産完成原価	1,823	49	2.7%
うち管理費	622	254	40.8%
営業利益	10	52	
<b>&lt;関連事業&gt;</b>			
営業利益	6	3	
<b>&lt;全事業&gt;</b>			
営業利益	16	56	
経常利益	11	59	
税引後純利益	5	32	

端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

注)上記に記載した予想数値は、現時点での情報により判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含みます。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

#### 4. 連結子会社の状況

昨年度の中間期末の連結対象会社は、子会社3社及び関連会社9社(料金収受会社8社及び交通管理会社1社)の計12社でした。昨年12月に料金収受会社1社を子会社化し、本年4月には残りの料金収受会社7社及び交通管理会社1社を子会社化するとともに、維持修繕業務を実施する子会社5社を設立しました。これにより、平成20年3月期中間期末は連結子会社のみ17社となりました。

なお、連結及び個別の財政状態等は以下のとおりです。

#### 第3期中間期における連結財務諸表及び個別財務諸表の比較

(単位:億円 億円未満切捨て)

	資産額	売上高	税引後純利益
連結財務諸表(A)	5,237	1,343	32
個別財務諸表(B)	5,186	1,335	28
差異(A) - (B)	51	7	3

#### (参考)平成20年3月期の単体業績見通し

(単位:億円)

	平成20年3月期 中間期実績	通期単体見通し	事業計画	平成19年3月期 通期実績
<b>&lt;高速道路事業&gt;</b>				
営業収益(売上高)	1,323	4,389	4,397	2,837
うち料金収入等	1,274	2,566	2,561	2,547
うち道路資産完成高	49	1,823	1,836	289
営業費用	1,273	4,379	4,392	2,800
うち賃借料	967	1,935	1,935	1,944
うち道路資産完成原価	49	1,823	1,836	289
うち管理費	256	622	622	566
営業利益	50	10	5	36
<b>&lt;関連事業&gt;</b>				
営業利益	1	2	2	1
<b>&lt;全事業&gt;</b>				
営業利益	52	12	7	38
経常利益	52	6	1	39
税引後純利益	28	3	0	25

端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

以上